

おばなざわ 市議会だより



宮沢中学校全校生の熱唱 62年の歴史に幕

3月20日宮沢中学校閉校式式場にて生徒たち自らが作詞した思い出の歌「未来へ・僕らが創る Last Song」を披露しました。

3月定例会／1月臨時会

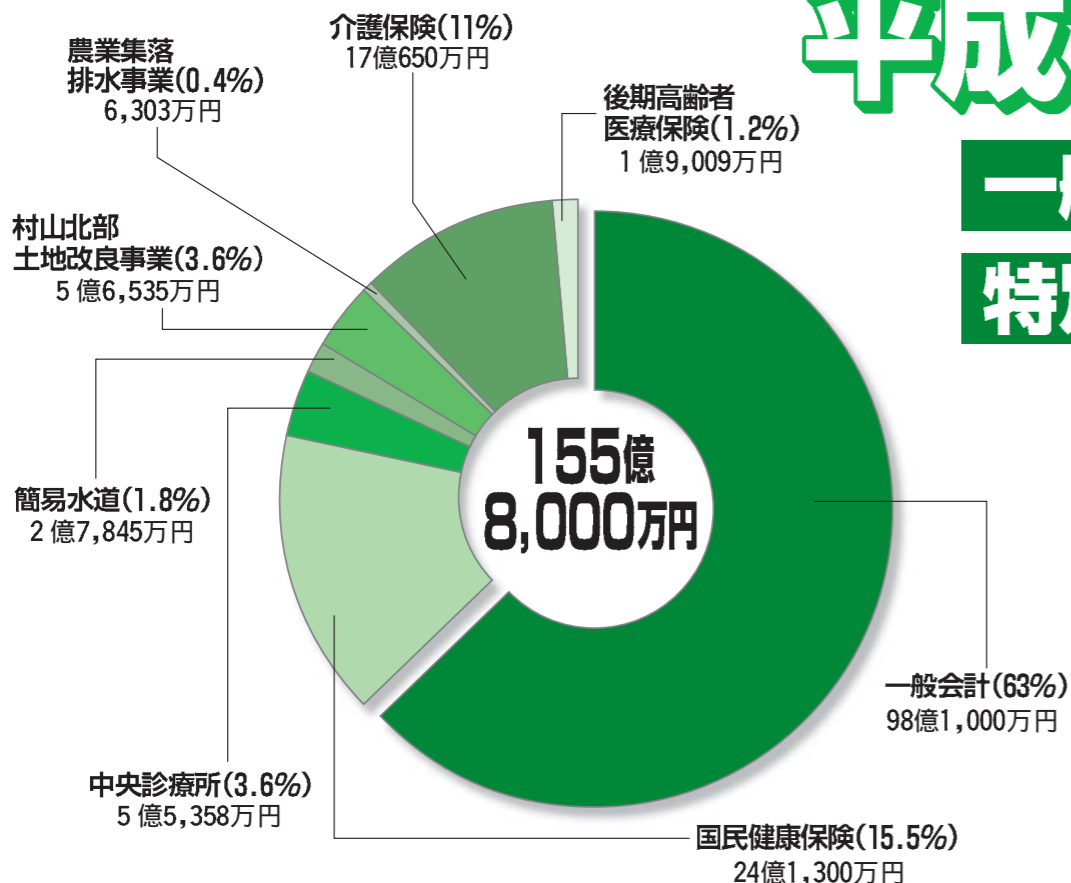
補正予算の審議／予算特別委員会	2
議案の審議	3
分科会委員長報告	4
行政調査報告	5
一般質問	6
請願の審査結果／採択された意見書	9
可決された議案	10
広域議会の報告	11
私のひとこと／人のうごき／あとがき	12



平成24年度予算を可決 前年度比 1億934万4千円減

一般会計 98億1000万円 (市税や地方交付税などを歳入として、土木・教育・福祉など、市が行う事業に使われます。)

特別会計 57億7048万円 (尾花沢市には、国民保健・中央診療所・簡易水道・国営村山北部土地改良事業・農業集落排水・介護保険・後期高齢者医療保険の7つがあります。)



道着については、現在備品を貸与していますが、各自に購入してもらうことも検討しています。近年、あらたに結核に感染する人が増え、集団感染の事例も注目されているが、広報をつ

予算特別委員会

質 児童デイサービス施設を、尾花沢に作ってはどうか。
答 現在、県に要望しており、定員10名の施設を検討しています。

補正予算の審議

質 公有財産購入費219万円について内容は何か。また、登記料は含まれているのか。
答 宮沢地区の東山一帯の所有者が、現在、県外の方になっており、市としては水環境保全条例の観点からも買戻したい考えです。1㎡あたり2円で交渉を進めたいと考えています。また、行政の場合、登記料は免除されるので、含まれていません。

3月議会は3月2日から3月16日まで開催されました。前年対比1.7%減の98億1千万円となった24年度一般会計予算を中心に、特別会計・条例の制定などを慎重に審議し、可決しました。また、例年以上の豪雪にみまわれたため除排雪費として2億2千600万円の補正予算を可決しました。今年度の除排雪費は総額5億9千200万円になりました。

質 雪おろしなど地区の負担が大きいものもあり、強制撤去などの対策を考えてはどうか。
答 現在180軒くらいの空き家があり、持ち主に連絡を取ってきちんとした管理をお願いしています。強制執行した場合、費用を請求できるかどうかが課題になります。
質 定住対策について、どのような施策をとっているか。
答 若い年代層へのアパート賃料の補助を行っています。その制度を利用して市外からの転入者もあり、成果を挙げています。
質 庁舎の老朽化がすすみ、耐震上などのさまざまな問題がある。災害時には中心的な役割を果たさなければならぬ機能が、あり、建設を進めてはどうか。
答 平成28年度以降を目途に検討していきます。24年度中に検討委員会を立ち上げ、意見を聞いて素案を作っていく考えです。
質 尾花沢警察署の建て替えにか

議案の審議

質 花笠高原施設および徳良湖周辺施設の指定管理の期間を3年としているが、1年にしてはどうか。
答 市として運営改善策を策定しスタートしました。効果を検証するために3年の期間が必要と考えています。四半期毎に報告を求め見直しを行う方針です。
質 報告の結果、あまりに経営が悪化すれば期間の見直しができるのか。
答 指導を強化します。
質 徳良湖温泉の機械設備等保守点検料は管理経費として、指定管理者が負担するべきではないか。
答 経費ではなく建物の附属設備と考え、市で負担しています。

東日本大震災被害等対策特別委員会を結審
 当特別委員会は、未曾有の被害に対し調査と解決に取り組んできましたが、各方面の努力によって一定の対応が進められていることから、今会期をもって結審することにしました。今後とも地域産業を守り、市民生活の安全安心を確保するよう、各界に要望活動を行うとともに、市議会として全力を挙げていきます。



予算特別委員会

分科会委員長報告

第1分科会

(総務文教)

今年度から住民税における年少扶養控除などの所得控除額が廃止・減額され、課税額が増えることにより、収納対策においては、厳しい状況も予想されます。今後も未納者の生活実態や状況を十分に把握し、きめ細やかな対応を図りながら納税相談を行うよう要望しました。

コンピューター等保守点検委託料について今後、電算システムクラウドサービスの導入については、保守料等維持管理をふくめ、十分検討されるよう要望しました。

避難所への備蓄品の配備や災害時の孤立集落への対応、さらに防災マップの作成など防災対策の強化について、作成にあたっては、各地域の避難場所や避難経路などの細部まで配慮し、区長や、消防団等の地区民と深く関わりを持ちながら作成されるよう強く要望しました。

地域農産物を活用した商品開発を行う事業者について、新加

工品開発支援事業を活用し、今後、農商工観、連携した取り組みの強化と活力ある産業振興が図られるよう要望しました。

「ふるさとCM大賞」の取組みについては、入賞による市の宣伝効果を期待し、今後とも意欲ある取り組みを要望しました。



ふるさとCMで誕生した「おばね特産隊ごっつお3」活躍中!

中学校給食について、地元産食材の使用割合を高め、今後も地産地消に努められるよう要望しました。

学校給食の放射性物質モニタリング検査の結果、放射性セシウム等が不検出であったとの報告があり、今後ともより一層の

安全安心な学校給食が提供されるよう要望しました。

慎重に審査しましたところ、いずれも、原案通り可決すべきものと意見の一致をみた次第であります。

第2分科会

(市民厚生)

路線バスについて、スクールバスやデマンドバスへの移行も含め、市民の足の確保に努めるよう要望しました。また、区長の役割や業務量について、各地区公民館や地域支援員と連携し、負担軽減を図るよう要望しました。社会福祉総務費について、奥出雲市のあんしん生活サポート事業を先進事例として調査研究するよう要望するとともに、福祉有償運送事業については、民間も含めた移送支援のあり方について、更なる検討をするよう要望しました。

国民健康保険特別会計について、給付基金が十分な状況になく、医療給付費の抑制に努めるよう要望しました。農業集落排水事業特別会計については、宮沢西部地区の加入率が52・5%と低く、加入促進に努めるよう要望しました。

付託された案件について、慎重に審査した結果、いずれも原

案の通り可決すべきものと決定いたしました。

第3分科会

(産業建設)

常任委員会等の行政調査について、職員も同行し見聞を広められるよう、また、原則として同行する職員は事務局職員ではなく、議員の調査内容に関連する部署の所属職員とされるよう要望しました。

尾花沢産牛振興協議会負担金について「雪降り和牛尾花沢」は月刊誌等のマスコミにより大きくPRされていますが、雪降り和牛を使用した売れる商品開発に向け、努力されるよう要望しました。

花笠高原施設については、検証作業の中で、施設の運営のあり方や指定管理者の選定方法も含めて、将来持続可能な方策を検討するよう要望しました。有害鳥獣被害対策について、有害駆除対応策として電気柵による成果が出ていることから、各集落へ普及啓蒙を図るよう要望しました。

トヨタ自動車関連の誘致対策について、福原工業団地の雪対策や水対策を検討し、企業を誘致しやすい環境づくりをさらに進めるよう要望しました。



4ブロック制の除雪体制について路線のつながり方等十分に調査・把握した上で毎年検討し、効果的な除排雪ができるよう要望しました。

新鶴子ダムの冬期放流について、降雪量の多い時は早めの放流ができるよう、関係機関に働きかけるよう要望しました。いずれも原案の通り可決すべきものと意見の一致をみたところであります。

1月臨時会

約4億6千400万円の補正予算を追加し、その内容について質疑を行いました。

質 リフト車両購入補助金について、現在、利用状況はどうなっているか。民間福祉タクシーを利用するときの費用補助をして、負担軽減を図る考えはないか。

答 月に20名〜25名の利用があり、自宅から公立病院までの利用が多い状況です。今後、社会福祉協議会が主体となって運行する計画です。

民間福祉タクシーを利用した際の費用については、助成金という形で改善したいと考えています。

ます。

質 鶴子小学校耐震化工事はどうなるのか。

答 4月発注の予定ですが、子供たちの授業に支障のないよう進めていく考えです。

質 消防施設費が高額になっているので、説明をもらいたい。

答 県の方針で、消防救急無線がデジタル方式に移行されます。これに伴い、基地局の無線装置、アンテナ、回線制御装置、車載装置などが必要となります。

また、消防団の緊急連絡システムは、25年度以降、順次進めていく予定です。



水のない火災現場でも消火活動ができる機材を搭載した高性能消防自動車を購入され、訓練が行われました。

行政調査報告

議会だより編集委員会

1月10・11日の2日間、岩手県の岩手町と矢巾町に、議会だより編集委員会の行政調査を行いました。

岩手町は議会事務局の手伝いがあり、かなりの部分を事務局に依存しており、全て議員が編集している尾花沢市とは違うところでした。表紙が横書きのもあり斬新では非、取り入れたいところ。矢巾町は、議会だより編集委員会規定があり、編集委員会が物ごとを決めて編集している、全国コンクール1位の実績があります。

2か所の議会だよりの行政調査を行い、分かりやすく市民に親しみやすい議会だよりにするために、取り入れられるものは、すぐ採用していきたいと思えます。



岩手県岩手町役場

議会運営委員会

【埼玉県羽生市人口5万6千人、議員定数14名】

◎2常任委員会制度のメリット、デメリットについて

2常任委員会のメリットは、7人体制で十分審議が尽くせるようになったことが大きな成果です。デメリットは付託する件数が多いので時間がかかり、会期日程も常任委員会だけで4日間を取らなければなりません。

【群馬県東吾妻町人口1万5千人、議員定数14名】

◎議会基本条例制定に係る議会改革の取り組みについて

議会基本条例の制定により市民にわかりやすく、開かれた議会の実現を目指し、議会の活動や仕組みを理解していただくために『議会報告会』を開催しています。東吾妻町5地区で夜7時から実施し、合計160名が参加しました。議会情報の公開、議会と市民の連携、議会での自由討議、議員定数などの議会改革が条例で定められています。



3月定例会

一般質問



伊藤精一 議員

尾花沢市の農政について

質 担い手の確保と新規就農者対策についてどのように考えているか。

市長 国では青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を目的として、経営が不安定な就農後5年以内の所得を確保するため年間150万円の給付金を支援する新規就農者給付金制度が実施されます。本市では、支給要件を緩和し、就農後最長3年間、給付金を支給する「尾花沢市農業新規参入者支援制度」を市の単独事業として創設し、その予算を新年度に計上しました。

質 次世代エネルギーパークの認定を受けての対応はどうか。

市長 資源エネルギー庁が主催する広報事業で全国にPRされ、全国各地の次世代エネルギーパークとの連携が強化され、施策に関する情報交換ができることとなります。また、再生可能エネルギー設備導入に係る補助事業などの採択が優先されるなどのメリットがあります。

今後は、再生可能エネルギーを活用した安全安心なまちづくりを目指し、雪対策の他、さま

ざまな分野での活用方法を検討していきます。

質 市の防災計画を基にした各集落における自主防災会のマニュアル作りやハザードマップ作成についての取り組みをどう考えているか。

市長 現在、各地区ごとに防災計画は作成されていますが、集落単位での自主防災会の防災マニュアル（マップ）が不備な状況です。防災意識を高める手段として大変有効ですので、区長はじめ各地区公民館や地域の方々と連携しながら、早急に取り組んでいきます。

質 庁舎建設の検討委員会の進捗状況について、建設年度・建設方式・基金活用はどうなっているか。

市長 建設年度は、新鶴子ダム負担金の償還が終了する平成28年度以降がひとつの目安と考え、新年度から建設方法や費用、時期など、基本的な考え方を策定し、その後、市民各層からなる検討委員会を設置し、市民の意見を反映させた庁舎建設を目指していきたくと考えています。



塩原末知子 議員

雪国再生特区を もっと活用すべきでは

質 「雪国再生特区」は豪雪のまち尾花沢で生活して良かったと思えること、たとえば各地に必要な雪捨て場を提供した土地に関して、固定資産税を優遇する措置や、溶雪・利雪・克雪に関する新たな産業を起こす企業に有利な制度や雪に特化した研究所や企業の誘致等に活用できないのか。

市長 これまで雪山簡便冷房システムや市民雪研究会と共同して、雪国暮らしの知恵募集など雪国だからこそ活かせる施策を展開してきました。今後とも雪資源をどう活用し地域活性化策につなげることができると、構造改革特区制度の活用も視野に検討してまいります。

雪捨て場提供による固定資産税の軽減措置につきましては、該当事例は今のところ見当たりませんが、無償貸与に対する減免事例としては青森市において行っております。

質 「東北観光博」が1月23日から開催されているとあったが、市では「銀山温泉エリア」として実施するものがあつたがどのよ

うな事業なのか。

市長 東北地域全体を博覧会会場と見立てて、東北の主要な観光地域28箇所の登録があり当市は「銀山温泉ゾーン」として3月18日から本格実施となります。現在、銀山温泉の若者で結成されたグループが中心となり、着地型商品やイベント等さまざまな企画を話し合っている状況であり、その意見も取り入れながら、運営協議会で今後の展開について協議していきたく考えています。

質 観光や防災等の分野で「Twitter、ツイッター」「Face book、フェイスブック」等を緊急時の情報発信に活用する予定はないか。

市長 東日本大震災において一定の効力を発揮しました。県内で活用している市町もあることから、災害に強い防災情報発信の手段として、先進事例など調査研究を行ってまいります。

今回開催される東北観光博において、ツイッターを活用した情報発信を行う予定です。



3月定例会

一般質問



五十嵐佳満 議員

流雪溝整備促進の急務について

質 流雪溝整備促進にかかる要望・請願が各地区から数多く寄せられている。例えば、本市本町地区においては、未整備地区を計画するにも、河川からあと毎秒2トンの水量が足りない現状である。現在の取水量で整備しても地区内に水をまぶる状況で、雪を流す状況にない。尾花沢市を流れる24の1級河川からの冬期水利用策定を早急に立ち上げ、市民の要請に応える必要がある。具体的な雪対策は、本市「雪国の街・尾花沢」にとって最重要課題であって、また定住促進を掲げるには、これをおいて他にないと考える。当局の今後のビジョンはどうか。また具体的な策定に入るなど、急務を要する課題である。当局の考えはどうか。



況です。河川等にある水をどのように有効に使うかといったことは、非常に重要な課題であり、これに向けてさらなる調査が必要で

質 水を活用するためのタイムテーブルに載せるために、内容を精査し計画を立てていきたいと考えています。

質 人口流出を防止する最重要課題として、集落ごとの流雪溝整備年次計画を早急に策定すべきではないか。

市長 市内における流雪溝の整備率は平成23年度で約60%となつています。現在も多くの集落から要望があり、社会資本整備総合交付金などの補助事業や過疎債などを活用しながら整備を図っていききたいと考えています。

質 雪を語るなら尾花沢に来い」と、全国に発信する「産・学・官」が一体となった克雪・利雪研究機関の設置を県に要望してはどうか。

市長 これまでの取り組みのノウハウを集約するとともに、再生可能エネルギーを生かした居住空間の無雪化の調査研究も行っていく予定です。「市民雪研究会」と「やまがたゆきみらい推進機構」が一体となった研究機関の設置などについて県に働きかけていきたいと考えており、総合的な研究機関があればなお一層、克雪・利雪のまちとして全国に発信できるものと思



青野隆一 議員

克雪・利雪研究機関の設置を

いますので、県と協議していきます。

質 今後、どう特色ある学校運営を行い、社会教育をどう活性化していくのか。

教育長 「幼保・小・中の連携に立ち知徳体の調和のとれた活力ある子どもを育成する」を目標に、「信頼される学校」を目標としていきます。そのため、①学校教育目標の重点化②学校評価・PDCAサイクルをもとにしたマネジメント力の発揮③情報発信等による開かれた学校づくりの三点を重視していきます。社会教育については、学校・家庭・地域が連携し、人と人の関わりや絆を大切にしたい気な地域づくりに努めていきます。

質 大石田分署が老朽化し、救急出勤の増加や職員の大規模交代期にあつて、町との協議をどう進めていくのか。

市長 築36年が経過し老朽化が目立ち耐震化もされてないことから、建て替えをするかどうか決める時期にきています。今後消防事務委託問題協議会等を立ち上げて、検討していきます。



3月定例会

一般質問



菅野修一 議員

豊富に眠る再生可能エネルギー資源の活用でバイオマスプラント事業に挑め

質 永年の念願が叶って、新鶴子ダムの冬期豊水放流が認められ、1月16日から毎秒5トンの水量を流している。この水を克雪対策にどう活用していくのか市長の所見を伺いたい。

市長 新鶴子ダムからの冬期放水は、防災上の観点から実施となりましたが、流雪溝をはじめとする克雪対策に弾みをつけることは間違いないと確信しています。

取水対策はこれからで、丹生川からの水をいかに多く市街地に入れるかの具体的な検討が必要であり、一番湯水となる時期の流量が問題です。関係各部署・機関と連携し検討していきます。

質 本市の面積の7割を超える森林資源を再生可能エネルギーとして活用の方策はないか。

市長 新エネルギー分野のバイオマスも各地で活用が図られています。本市の豊富な森林資源を活用することは林業の振興にもつながり、新年度は有識者を変えた再生可能エネルギー導入に関する研究会を立ち上げ、

種々検討していきたい。

質 豊富なバイオマス資源を利用しているバイオマスプラント事業等の企画に挑むべきと思うかどうか。

市長 企業懇談会主催の新春講演会では「トヨタ自動車における燃料電池車開発状況と2千15年普及開始に向けた取り組み」、「バイオマス資源を活用した水素社会構築への挑戦」という講演と、民設・民営のバイオ水素製造事業（ブループロジェクト事業）が紹介されました。

木質廃材や間伐材、製材くず、牛糞・鶏糞等畜産廃棄物、下水汚泥等のバイオマス資源を原料として水素または電気・熱を製造するプラントで、肉用牛の肥育頭数8千500頭、広大な山林を有する本市にとって有益なエネルギーシステムのように伺いました。

尾花沢市が持つこのような資源を活かしたバイオマスプラント事業に取り組む企業体があるとなれば、市としても積極的に支援していきたいと考えています。



加藤克彦 議員

雪の積もらないまちづくりを

質 再生可能エネルギーの地中熱を利用した地中熱ヒートポンプ方式で本町地区は、歩道部や住宅に雪が降っても積もらないまちづくりを進めてはどうか。

市長 豪雪地帯の本市では、少しでも除排雪作業の軽減が図られるよう屋根や軒下の生活空間の無雪化プロジェクトを立ち上げます。そして、地中熱の活用など産学官が連携して本市にあった融雪設備等の調査研究を進めていきます。

質 ソフト・ハードに使い勝手の良い都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）制度と過疎債を重ねる手法で、まちづくりを進めてはどうか。

市長 本市では、社会資本整備交付金制度を活用し流雪溝や防雪柵の整備、除雪機の購入や除排雪経費の確保など計画的に事業を進めています。この交付金の研究を進めると同時に、過疎対策事業債は適性に留意しながら活用していきます。

質 尾花沢牛（雪降り和牛尾花沢）の今後の販売戦略と販売施設の整備など、6次産業化の進

め方はどうか。

市長 尾花沢牛の6次産業化としては、市内事業所ですでにカレー・ハンバーグ・牛肉まん等の実績がありますが今後とも需要に即した新商品開発や販路拡大が肝要と考えています。また、首都圏への販路が拡大されれば、精肉販売加工業者の企業誘致も視野に入れた対応も必要と考えています。この度「雪降り和牛」は、札幌市内大手スーパーで順調に売上を伸ばしています。さらに、山形市内大手デパート内の精肉販売店でも尾花沢牛取扱店になっていただきました。今後とも販路拡大とブランド化に向け努力していきます。

質 本市出身のなでしこジャパン佐々木則夫監督を観光大使に委嘱してはどうか。

市長 佐々木監督は知名度も高く、非常にふさわしい方と考えますが、今年はロンドンオリンピックを控えていますので、現段階でのお願いは困難であると思われま。まずは、ロンドンオリンピックでの悲願達成を心から願いたいと思います。



3月定例会

一般質問



石塚ミツ子 議員

医療費窓口負担軽減と支払方法の改善を

質 医者代が高く、具合が悪くても病院に行けず、死亡に至るケースもでてくる。国民健康保険法に、医療費負担が困難であると認められる被保険者に対し、支払を減額することや、免除することなどがうたわれている。本市の現状はどうなっているか。

市長 国保の一部負担金の減免・免除等については、昨年12月、国に準じ、天災等や事業休廃止、失業等により収入が著しく減少した場合など、被害等に応じ、入院時の一部負担金の減免・免除を行う取扱要綱を定めました。
質 子供の医療費無料化が中学校3年までと拡大した。いったん医療機関の窓口で支払い、再度市役所で申請しなければならず、保護者の物理的負担が重くなってきた。以前のようないかに方法に戻す考えはないか。
市長 中学校3年までの医療費無料化は、子育てしやすい環境づくりとして実施しましたが、医療費を認識していただくことも重要なことで、いったんは窓口での支払いをお願いしています。なお、市役所の業務時間に

来れない方については、月に一度、受付業務時間の延長をしていますので、ご理解を願います。
質 豪雪で低温の期間が長く厳しかった。所得の少ない人への灯油券発行はできないか。
市長 豪雪対策として、今年度は、除雪券を2枚追加し、4枚発行して支援を行いました。灯油券発行については、今後の検討課題とします。

質 水あがり対策について、流雪溝が構造的に欠陥と思える箇所の改善を図るべきと思うがどうか。
市長 今年度の流雪溝での水あがり出動は、15日以上で30件以上発生し、ほとんどが機械等による容量以上の投雪によるものと思われました。

対処方法は、人力により小さくして下流に流すものと、対応できないときは重機で処理するものもあります。構造的に問題となる場所は、状況を把握し修理するなどの対応をしていきます。

請願の審査結果

採択された請願

- 平成24年請願第1号 宮沢地区小学校統合に伴う市道の拡幅と改良工事に関する請願 宮沢地区区長 会長 高橋 守悦
- 平成24年請願第3号 豪雪対策にかかる請願 みちのく村山農業協同組合 代表理事組合長 高谷 尚市
- 平成24年請願第5号 市道1-10号線(寺内野崎地内)防雪柵設置に関する請願 寺内学区代表 菅野 一磨
- 西原第1区長 三浦 澄夫
- 寺内第1区長 渡辺 敏良
- 寺内第2区長 渡辺 優
- 寺内第3区長 渡辺 清治
- 西原第2区長 溝越 清治
- 平成24年請願第6号 和合地区流雪溝整備に関する請願 和合地区区長 菅野 誠治
- 平成24年陳情第1号 豪雪被害対策にかかる陳情 鶴巻田水田営農実践組合 鶴巻田農用地利用 管理組合 組合長 折原 菊雄

継続審査される請願

- 平成24年請願第2号 二藤袋地区水道整備に関する請願 二藤袋第2区長 大山弘一郎
- 二藤袋第1区長 大山 哲夫
- 平成23年請願第23号 年金受給資格の10年への短縮を求める請願(平成23年12月定例会継続審査分) 全日本年金者組合 北村山支部長 板垣とし子
- 菅藤清一郎 吉田 春夫

採択された意見書

- 議案第2号 脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める意見書 脱原発社会を実現するために、原子力発電所の新規計画を中止し、既存の施設の計画的な廃炉の実施を求めます。早急に自然エネルギーを中心とした政策へ転換するよう求めます。 議案第3号 消費税増税に反対する意見書 政府は、社会保障と税の一体改革大綱を決定し、消費税増税関連法案を年度内に提出し、全力で成立を目指すとしています。



議員報酬削減を採択

議会議案第1号

消費増税に反対し、税金の無駄使いをなくすとともに、大企業や富裕層への応分の負担を求めます。

平成24年4月1日から現議員の任期である平成27年7月までの間、議長については月額1万5千円、副議長は1万2千円、議員は1万円の報酬を減額する条例改正案が議案案として提出され、賛成多数により可決されました。

国会要望活動

この冬は、例年以上の豪雪が降り、雪対策費が1月中旬に底を過ぎてしまいました。そのため、議員団として2月中旬に国に要望活動を行い、総務省・国土交通省や国会議員に対し、追加予算を強力に要望してきました。

その結果、総額8億300万円の特別交付税が追加決定されました。



可決された議案

1月臨時会

議第1号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第6号)

3月定例会

承第1号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認について

承第2号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認について

承第3号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認について

議第2号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第10号)

議第3号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

議第4号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第4号)

議第5号 平成23年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計補正予算(第1号)

議第6号 平成23年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

議第7号 平成23年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)

議第8号 平成23年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)

議第9号 平成24年度尾花沢市一般会計予算

議第10号 平成24年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算

議第11号 平成24年度尾花沢市簡易水道特別会計予算

議第12号 平成24年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計予算

議第13号 平成24年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計予算

議第14号 平成24年度尾花沢市介護保険特別会計予算

議第15号 平成24年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算

議第16号 尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定について

議第17号 尾花沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議第18号 尾花沢市社会教育条例の一部を改正する条例の制定について

議第19号 尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議第20号 尾花沢市花笠高原施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第21号 尾花沢市徳良湖周辺施設等設置及び管理に関する

議第22号

る条例の一部を改正する条例の制定について
尾花沢市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

議第23号

尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

議第24号

尾花沢市民図書館条例の設定について

議第25号

尾花沢市おもたか奨学金基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について

議第26号

尾花沢市暴力団排除条例の設定について

議第27号

心配ごと相談事業の補助に関する条例等を廃止する条例の設定について

議第28号

尾花沢市国土利用計画について

議第29号

尾花沢市過疎地域自立促進計画の一部変更について

議第30号

尾花沢市老人福祉センターの指定管理者の指定について

議第31号

尾花沢市高齢者コミュニティセンターの指定管理者の指定について

議第32号

尾花沢市共同福祉施設の指定管理者の指定について

議第33号

尾花沢市花笠高原施設等の指定管理者の指定について

議第34号

尾花沢市中心商店街活性化センターの指定管理者の指定について

議第35号

尾花沢市徳良湖周辺施設等の指定管理者の指定について

議第36号

道の駅尾花沢の指定管理者の指定について

議第37号

市道路線の認定及び廃止について

議第38号

尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任について

議第39号

尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任について

議第40号

人権擁護委員の推薦について

議第41号

尾花沢市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について

議第42号

消防救急デジタル無線施設新設工事請負契約の締結について

議 会 案

議会議案第1号 尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議会議案第2号 脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める意見書の提出について

議会議案第3号 消費増税に反対する意見書の提出について



広域議会の報告



北村山広域行政事務組合

北村山広域行政事務組合議会の平成24年度第1回定例会が、平成24年3月28日村山市議場で開催されました。一般会計予算

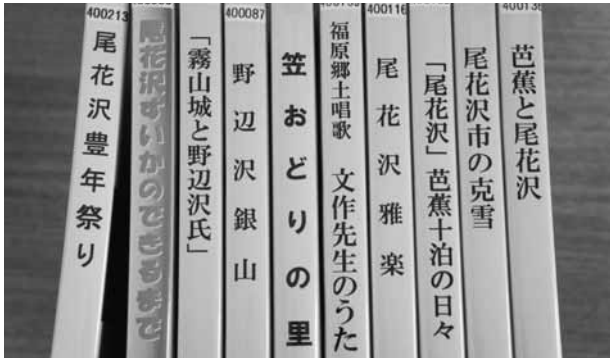
組合経費の負担金についての2議案が上程され、審議の結果いずれも原案通り可決されました。一般会計予算総額は1億754万円（尾花沢市の組合経費の負担金は2千476万5千円）で、対年度費17・46%減です。歳出の総務費が18・92%減で、これは職

員人員減によるものです。民生費は25・63%増でこれは新生園体育館の解体工事費用5千万円です。教育費は7・54%増で臨時職員1名増の分とセンター修繕費等です。

平成24年度の視聴覚センターの主な事業としては、地域の写真や動画の素材をDVD化して広く地域で活用できるように素材提供収集をするとともに、ネット配信をすすめる各学校の学習に役立てたり、プラネタリウムと観測会を中心とした一般公開事業を実施していきます。

とし閉会しました。

平成24年度一般会計予算は、総額8億350万円で、一般会計歳入のうち分担金は尾花沢市が5億933万円で大石田町が1億8千165万円となっています。長年の懸案でした、し尿処理施設整備事業（更新計画支援業務委託）1千160万円を計上し、水道事業では自家発電機室築造工事については7千万円を計上しました。なお、公共下水道の本市工事予定地区は横町211m、禁町181mとなつていきます。



ビデオからDVD化されたソフト

尾花沢市大石田町環境衛生組合

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の3月定例会が21日同事業組合議場で開かれ、平成24年度一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算、平成23年度一般会計補正予算、使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど7議案を原案の通り可決しました。また、継続審査分のし尿投入量適性配分についての請願1件は不採択

北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会の3月定例会が、3月26日、東根市議場で開催されました。職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正のほか、平成23年度の3市1町の負担金額の補正、平成24年度の3市1町負担金額、平成23年度事業会計補正予算および平成24年度事業会計予算など8議案が上程され、審議の結果いずれも原案通り可決されました。平成24年度予算は、収益的収



北村山公立病院 内

入総額を51億5千589万円、同支出総額を54億3千239万円とするものです。資本的支出の主な事業は超音波診断装置の購入または継続事業の棟棟耐震補強工事などです。3市1町負担金総額のうち、本市の負担金額は6千952万円（実質負担額は1千975万円）です。また全員協議会では、事務部の組織改編や常勤医師の人事評価制度などを盛り込んだ24年度からの経営推進計画および神経内科の診療体制の縮小について報告されました。



私のひとこと



23年度緑のふるさと協力隊
石川 一樹 さん
(愛知県 出身)

◎尾花沢での一年で学んだこと

この一年間はあっという間でした。方言もろくに分からず習慣にも合わせるまで、自分自身ようやく「慣れた」と思った時は2月でした。人のやさしさも全く分かっていませんでした。今、実家に帰って生活しているのですが、皆、仕事や生活で忙しく、食事それぞれになりがちです。食事を一緒にするのは大事だと思います。片付けや準備が一回だけですめばどれだけ母親の労力が減るか。一人暮らしをしなければこんなことも思わなかったでしょう。また、全体がうまくいくように自分の身を置き、行動するというのも、尾花沢で学びました。農家さんの手伝いや、一緒に食事をしたりしなければ考えもしなかったです。す

れ違いざまにちよつとした挨拶があるだけでも人と一緒に暮らしているのだなと感じます。僕の住んでいるところではなかなかありません。顔を合わせなくても過ごせてしまうからだと思います。別々の暮らしをしているから関係がない、関係が持たないとさえ思えます。同じ地域に暮らしているのに寂しいことだと感じました。

帰ってきてからの僕の変化は、挨拶や、食事、ちよつとしたお礼を大事にしていることです。人にしてもらったことに対して気持ちよく受け取り、返事をすること。そうすれば、いろんなことになおざりにならなくなり、責任を自然に持てる、と尾花沢の人との生活で学ぶことができました。

農家さんの手伝いをして採れたものをいただいたり、近所のお母さん方から漬物をいただいたりとても良くなりました。人にあげられるモノを作ることもできるのは素晴らしいと思



ました。尾花沢の人にはおもてなしの心があります。明るく振舞ったり人のことを喜んで、モノを分けあったり、おもてなしの心に形はありませんが、なにか特別な道具があるわけでもなく、誰にでも出来るというところが素晴らしいなと思います。これが尾花沢で学んだ大切にしていきたい宝です。

人のうごき

表彰

◎12年表彰

石塚ミツ子 議員
奥山 格 議員

尾花沢市表彰規則に基づき、永年市の発展に尽された功績により表彰されました。

議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より次のように変わりました。

◎議会事務局長補佐

池田 正彦

(転出・商工観光課長補佐へ)

榎本千加子

(転入・健康福祉課保健主幹補佐から)

議会傍聴に是非どうぞ

各議員と市執行部との真剣な質疑のやりとりを傍聴できます。ぜひ来てください。

議会事務局 ☎(22)1111

あしがき

長かった冬もようやく終わり、春のおとずれが尾花沢にもやって来ました。

先日、議会だよりの先進地視察に行き、文字を少なく写真と空間を多くということを学びました。簡単なようですが、限られたページの中で、沢山の伝えたい事や必ず載せなくてはいけない事があり、どうしても文字ばかりが多くなってしまいます。皆さんが読みたくなるような議会だよりに目指し、編集委員会一同努力して参ります。
(大類好彦)

市議会だより編集委員

◎大類 好彦 ○塩原未知子

菅野 修一 武田 佳久

青野 隆一 星川 睦子

小関 英子

◎委員長 ○副委員長